

日本で飛んでいるドクターヘリ

BK117

川崎重工業とドイツのMBB社（現エアバス・ヘリコプターズ社）が共同開発した双発タービン機。1979年初飛行。
総重量3,585kg、発動機ターボメカ・アリエル（738shp）2基、
最大速度270km/h、巡航速度250km/h、航続距離700km、
搭乗者数（通常）：乗員2名＋同乗者4名＋患者1名。



EC135

ドイツMBB社の試作した原型Bo108が基本。現在エアバス・ヘリコプターズ社で製造中の双発タービン機。尾部ローターを垂直尾翼内に収めたフェネストロンが特徴。1994年初飛行。
総重量2,910kg、発動機ターボメカ・アリウス（634shp）2基。
最大速度259km/h、巡航速度240km/h、航続距離620km、
搭乗者数（通常）：乗員2名＋同乗者3名＋患者1名。



MD902

米MDヘリコプター社が製造中の双発タービン機。尾部ローターの代わりに気流の噴射によって方向操縦をするノーター機構が特徴。1992年初飛行。
総重量2,948kg、発動機PW207（640shp）2基、最大速度259km/h、巡航速度185km/h、航続距離539km、搭乗者数（通常）：乗員2名＋同乗者3名＋患者1名。



BELL429

ベル・ヘリコプター社が救急ヘリコプターを主目的として開発した新しい双発タービン機。2007年初飛行。
総重量3,175kg、発動機PW207（730shp）2基、最大速度287km/h、巡航速度278km/h、航続距離760km、搭乗者数（通常）：乗員2名＋同乗者3名＋患者1名。



AW109SP

イタリア・アグスタウェストランド社が製造中の双発タービン機。当初のA109は1970年代初めに開発され、以来40年間にエンジンの強化、ローターの改良など、大きく進歩している。
総重量3,175kg、発動機PW207（735shp）2基、最大速度311km/h、巡航278km/h、航続距離727km、搭乗者数（通常）：乗員2名＋同乗者3名＋患者1名。

